

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本競技会は、2014年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

2 練習について

- (1) 練習は第2陸上競技場において競技役員が指定する場所と時間帯で行う（放送で場所を指定する）。
- (2) 投てき及び跳躍種目は、競技役員が指示により主競技場で練習を行う。

3 招集について

- (1) 招集所は、サブグラウンド倉庫に設ける。
- (2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク	30分前	20分前
フ ィ ー ル ド	50分前	40分前

- (3) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集完了時刻までに招集所に掲示してある出場競技者一覧表に、本人または代理人がチェック（自分のナンバーを○でかこむ）をする。
 - ② 競技者は招集完了時刻には招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技者係にナンバーと競技用靴、衣類の商標の確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- (5) 競技場へは係員の誘導により入場する。

4 競技について

- (1) 短距離走では、安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーンを走る。
- (2) トラック競技でセパレートレーンを使用する場合は、欠場者のレーンはそのままあけておく。
- (3) 男女の短距離種目の予選は、全てタイムレースとし、上位8名が決勝へ進出する。
- (4) 棒高跳・走幅跳では、主催者が提供したマーカーを助走路外におくことができる。走高跳では、助走や跳躍の際、主催者が承認したものをおくことができる（マーカーは、薄く且つ競技者が踏んでも支障のないものであること）。
- (5) フィールド競技において2ピット（2つの競技場所）が必要と主催者が判断した場合は2つの競技場所で行う場合がある。
- (6) 中・長距離種目は、全てタイムレース決勝とする。
- (7) 100m、ハードル競技において、条件によっては、バックストレートを使用することがある。ただしバックストレートを使用する場合、改修工事のため100mと100mHは1～8レーン、110mHは1～4レーンを使用する。また110mHの決勝については、2組タイムレース決勝とする。
- (8) 出発合図は、イングリッシュコマンドで行う。
- (9) 不正スタートは1回で失格とする。（ただし四種競技は除く）

5 助力について

競技中、競技者は助力を受けてはならない。助力を受けている競技者は審判長によって注意され、くりかえし行われる場合には、その種目から除外される。

助力とは、次のような行為を含む。

- (1) 先頭の競技者から1周おくれか、1周おくれそうになったか競技者が、ペースメーカーとして競技すること。
- (2) その他の技術的な装置によってペースを得ること。
- (3) 競技者が、カセットレコーダーやラジオ及び通信機器を競技場内に持ち込むこと。

6 競技用具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。但し棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは競技開始前に現地で検査を受け合格したものに限る。

7 各種目上位3位まで表彰する。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

() 中の高さが練習の高さとするが、天候等の条件で審判員の判断により変更する場合がある。

種目	練習	1	2	3 ~
走高跳(男)	1m45	1m50	1m55	1m65までは5cmごと以後3cmごと
走高跳(女)	1m20	1m25	1m30	1m30までは5cmごと以後3cmごと
四種走高跳(男)	1m35	1m40	1m43	3cmごと
四種走高跳(女)	1m15	1m20	1m25	1m30までは5cmごと以後3cmごと
棒高跳(男)	2m10 3m00	2m20	10cmごと	

9 その他

- (1) 本大会は、第41回全日本中学校陸上競技選手権大会の指定大会とし、参加標準記録突破者は、出場権を得る。但し、他の競技で県総体および四国総体に登録メンバーとして参加し、全国大会の出場権を得たものは、その競技を優先する。
- (2) 競技中の傷害については、主催者が応急手当てをする。その後の処置については、スポーツ傷害保険による。なお、当協会はこの保険への加入を義務づけているので、未加入の競技者は至急に加入手続きをすること。
- (3) 競技者及び審判員は、当協会会員としての登録をしなければならない。
- (4) 競技場は常に清潔保持につとめ、紙くず等は必ず持ち帰ること。また、荷物等は各自が責任を持って管理し、盗難に十分注意すること。

全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録

男子(13種目)		女子(10種目)	
種目	写真判定	種目	写真判定
100m	11" 20	100m	12" 55
200m	22" 75	200m	25" 90
400m	51" 70		
800m	2' 01" 50	800m	2' 17" 00
1500m	4' 08" 50	1500m	4' 38" 00
3000m	8' 59" 00		
110mH	15" 00	100mH	14" 85
走高跳	1m85	走高跳	1m60
棒高跳	4m00		
走幅跳	6m50	走幅跳	5m40
砲丸投(5.000kg)	13m00	砲丸投(2.721kg)	12m50
四種競技	2,500点	四種競技	2,600点
4×100m	各都道府県1チーム (学校単独チーム)	4×100m	各都道府県1チーム (学校単独チーム)

(追風参考記録は対象としない)